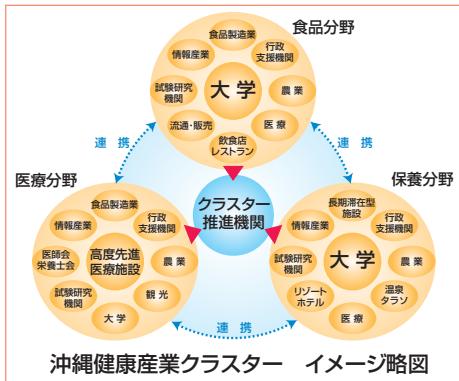


経済産業部

健康を維持するには、栄養、運動、休養、健診等の組合せによる取組が必要です。そこで、食品・保養・医療を核とした「健康産業クラスター」の形成を目指して活動しています。



沖縄総合事務局では、平成14年にOKINAWA型産業振興プロジェクトをスタートさせ、健康関連産業における産学官の広域的なネットワーク形成に取り組んでおります。



琉球エステ・スパ研究会の活動
沖縄は、年間580万人を超える観光客が訪れます。最近では、南国特有のゆったりとした時間・空間が醸し出す「癒し」と心身のリフレッシュを求めて、エステティックやスパサービスを受ける方が増えており、今や沖縄のリゾートホテルには欠かせない施設となっています。

そこで、温暖な気候や豊かな自然環境、独特の歴史や文化といった沖縄の特性を活かし、安心・安全で顧客満足度が高く、沖縄らしいエステティック及びスパのブランド化を目指す活動を行っています。



平成18年に「琉球エステ・スパ研究会」が発足しました。スパ先進地であるシンガポールでのトメントに月桃のアロマオイルを使い、ウェルカムドリンクにハイビスカスティーを提供し、インテリアに紅型をあしらい、沖縄の癒しの音楽を聴かせるなどといったように、実は多様な地域産業、ものづくり産業との連携が可能です。こうした沖縄らしいエステティック・スパが一大産業へと発展することにより、他産業への大きな波及効果が期待できます。また、若年者雇用の場としても有効であり、さらにはマリンレジャーだけではなく、新たな観光資源としての可能性を秘めています。

そこで、温暖な気候や豊かな自然環境、独特の歴史や文化といつた沖縄の特性を活かし、安心・安全で顧客満足度が高く、沖縄らしいエステティック及びスパのブランド化を目指す活動を行っています。

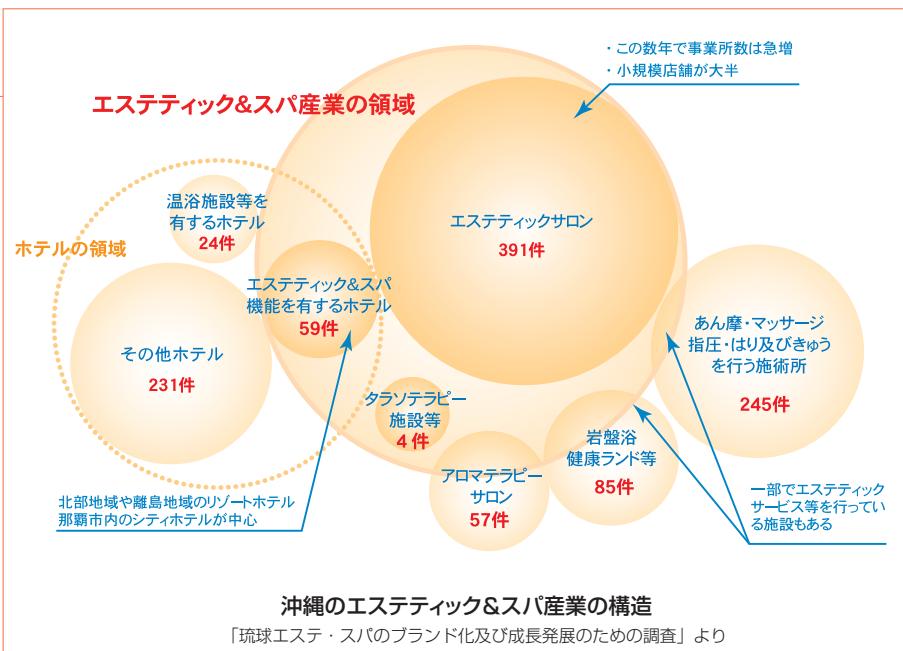
Point

OKINAWA型産業振興プロジェクト中核研究会「沖縄スパ産業研究会」では、沖縄らしいエステティック・スパのブランド化を目指しています。

癒しの島で極上のリラクゼーションを

市場規模は113億円

さて、経済産業部では、沖縄県内におけるエステティック＆スパ産業の実態把握と課題抽出を行い、ブランド化や成長発展に向けた方策を検討するため、平成19年度に「琉球エステ・スパのブランド化及び成長発展のための調査」を実施しました（委託先（株）海邦総研）。その結果、県内のエステティックサロンの件数は391件（08年）と、6年



者だけで解決できるものではありません。そこで、琉球エステ・スパ研究会の会員6名が発起人となり、6月4日に「沖縄県エステティック・スパ協同組合（新城恵子理事長）」が設立されました。同組合では、コミュニケーションマナーや沖縄の歴史・文化等の研修事業や、施術者の資格格付け制度など、エステティック・スパ産業を支える人材を育成するために必要な事業に取り組むこととしています。また、沖縄らしいサービスを提供し、かつ一定基準を満たすサロンに対する認定マークを付与することで、お客様が安心してサービスを利用できる環境づくりに取り組もうと考えています。さらに、他が真似できない地域ブランドとしての確立を図るため、認定マークの地域団体商標登録を目指しています。

沖縄県エステティック・スパ協同組合が設立

一方で、施術者の労働環境が厳しく離職率が高いこと、小規模事業者が多く集客・経営ノウハウが不足していること、店舗によってサービスクオリティにばらつきがあること等、様々な課題が挙げられています。

前に比べて4倍超に急増しており、また県内ホテル全体の約二割がエステティック＆スパ施設を有していることがわかりました。また、観光客の利用率は、入域観光客数の4%（市場規模約29億円）、これに街中サロンを加えると、県内エステティック・スパ産業の市場規模は113億円という試算結果となりました。今後も、同施設を有するホテルの建設設計が予定されているため、市場規模はさらに拡大し、地域経済への貢献は大きくなると分析しています。

6月17日には沖縄総合事務局にて組合設立記念セミナーを開催し、新城理事長から「エステティック・スパの全国的な組織はいくつもあるが、この組合は、沖縄のエステティック・スパをもっと良くするための組織。個々の事業者ではできないことでも、皆で協力することで大きな力を発揮することができます。」と、来場者に対し幅広く組合参加を呼びかけました。

さいごに

OKINAWA型産業振興プロジェクトは、平成20年度より会費制を導入し、琉球エステ・スパ研究会は「沖縄スパ産業研究会」に改称し、これまでのブランド化の取組に加え、沖縄のスパ産業発展のための方策検討など、幅広い議論を展開していくこととしています。

沖縄は、すぐ身近にエステティック・スパサービスを受けられる恵まれた環境にあります。最近では、男性が利用できる施設も増えてきました。仕事に家事にお疲れの皆様、極上のリラクゼーションを体験してみませんか？

OKINAWA型産業振興プロジェクトホームページ
<http://www.okinawa-cluster.jp/>

OKINAWA型産業振興プロジェクト推進ネットワーク事務局
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学地域共同研究センター3階（株式会社 沖縄TLO内）
TEL 098-895-8977/FAX 098-895-8957

沖縄県エステティック・スパ協同組合
〒901-2134 沖縄県浦添市港川2-22-1
TEL 098-963-5551/FAX 098-876-8955